

欽定英訳聖書における身体語彙の研究

— *Loynes* と *Thigh* —

盛 田 義 彦

A Study of Bodily Vocabulary in the Authorized Version of the Bible: *Loynes* and *Thigh*

Yoshihiko MORITA

Abstract

The purpose of the present paper is to investigate some linguistic facts of two bodily words, *loynes* and *thigh* in the Authorized Version of the Bible published in 1611. Our main discussion will be on several aspects of their grammatical behavior, their meanings and the origins of some idiomatic expressions containing *loynes* or *thigh*. As a result of discussion several findings have been made concerning the following items: statistical data displaying the behavior of *loynes* and *thigh*, some biblically characteristic meanings of *loynes* and *thigh*, and the Hebrew origins of some idiomatic expressions containing *loynes* or *thigh*.

1 はじめに

欽定英訳聖書は初期近代英語期の代表的な文語資料であるが、Shakespeare の作品などとは違い、基本的には翻訳文書である。しかしながら、Tyndale 訳以来の伝統を引き継いだその英語は、1611年の初版出版当時も今日と同様に、会堂に参集した会衆に音読された荘重な文体を通して高い宗教意識を持たせるに足るものであったと思われる。この英語は長年月の使用を通じて英国民のところに深く刻まれることとなった。欽定訳聖書は綴り字の現代化、誤字の訂正などはあったものの、ほとんど初版のままの英語で今日に至るまでほぼ400年間に亘って出版されつづけている。

本稿では欽定英訳聖書で用いられた身体語 *loynes* および *loynes* の部位に非常に近い *thigh* がどのように用いられているのか、その振る舞いを調査するとともに、両語がどのような意味で使用されているのかを考察し、更に、*loynes* や *thigh* に関わる慣用表現を選び出して解説し、加えてその起源などを調査する。

2 *Loynes* と *Thigh* の綴り字と使用頻度

2.0 綴り字

loin および *thigh* の複数形については以下のような変異形がある。

loin: *loynes*, *loines*;

thigh: *thighs*, *thighes*

2.1 用例数

James Strong の *Exhaustive Concordance* によって *loin* と *thigh* の用例数を数えらるとつぎの表の数字になる。なお、Strong には外典部分のデータが含まれていない。

Table 1 Strong's Frequency of *loynes* and *thigh* in AV

	Old Testament (以後 OT)	New Testament (以後 NT)	total
<i>loin</i>	0	0	0
<i>loines</i>	21	4	25
<i>loynes</i>	34	4	38
total	55	8	63
<i>thigh</i>	20	1	21
<i>thighs</i>	1	0	1
<i>thighes</i>	2	0	2
total	23	1	24

Chadwyck-Healey 社の English Bible CD-ROM を用いて欽定訳聖書の身体語 *loin*, *loynes*, *loines* と *thigh*, *thighs*, *thighes* の使用頻度を検索し、コンピュータが hit した数字から外典部分の数値を除き、更に各章の要約および欄外注の数値を除くと次の表 2 のデータが得られる。

Table 2 Chadwyck-Healey's Frequency of *loynes* and *thigh* in AV

	OT	NT	total
<i>loin</i>	0	0	0
<i>loines</i>	21	4	25
<i>loynes</i>	34	4	38
total	55	8	63
<i>thigh</i>	20	1	21
<i>thighs</i>	1	0	1
<i>thighes</i>	2	0	2
total	23	1	24

表1と表2を比較すると、全く同じ数字が得られた。すなわち、Strongのデータは正確であると判断できる。

表1及び表2からAV本文には*loin*という単数形は用例がないこと、複数形がOTとNT合わせて63例あることがわかる。また、*thigh*がOTとNT合わせて21例、複数形はOTとNTを合計して3例あり、合計24例あることがわかる。

3 Behavior

3.0 統語論上の分類項目

前節で得られた63および24の用例を統語的観点から両語の振る舞いを主格、目的格に分け、主格については文の主語と補語に分け、目的格については動詞の目的語と前置詞の補語に分類する。更に、動詞の目的語として振る舞う場合、これを支配する動詞を調べる。加えて両語の前置および後置修飾の要素を観察する。

3.1 主格をとる *loines*

主格としての振る舞いは表3に示すような分布をなす。

Table 3 Frequency of *loines* and *loynes* in the Nominative Case

	OT	NT	total
主 語	7	0	7
補 語	0	0	0
total	7	0	7

主格として用いられた *loines* および *loynes* 7例は全用例が主語として用いられている。

3.2 目的格をとる *loynes*

目的格をとる *loines* および *loynes* を動詞の目的語と前置詞の補語に分けて数えると表4になる。

Table 4 Frequency of *loines* and *loynes* in the Objective Case

	OT	NT	total
動詞の目的	14	2	16
前置詞の補語	35	5	40
total	49	7	56

目的格として用いられたものは56例、その内、動詞の目的語になっているものは16例、前置詞の補語として用いられたものが40例で目的格の用例の71%になる。

3.3 *loynes* を目的語として支配する動詞

動詞の目的語として用いられた16例について、どのような動詞と共に用いられているかを頻度の多い順に表5に示す。

Table 5 Frequency of Verbs Taking *loines* and *loynes* as their Object

verb	OT	NT	total
<i>gird</i> vp	6	1	9
<i>gird</i>	2		
<i>make</i>	3		3

欽定英訳聖書における身体語彙の研究

haue		1	1
let		1	1
loose	1		1
smite	1		1
total	13	3	16

loines や *loynes* をその目的語として取る動詞としては *gird* が多いことが判る。

3.4 主格をとる *thigh*

主格としての振る舞いは表 6 に示す。

Table 6 Frequency of *thigh*, *thighs* and *thighes* in the Nominative Case

	thigh		thighs & thighes		total
	OT	NT	OT	NT	
主 語	1	0	0	0	1
補 語	0	0	0	0	0
total	1	0	0	0	1

主格として用いられた *thigh* が 1 例あるが、複数の *thighs* や *thighes* は用例がない。

3.5 目的格をとる *thigh*

目的格をとる *thigh* および *thighs* や *thighes* を動詞の目的語と前置詞の補語に分けて数えると表 7 になる。

Table 7 Frequency of *thigh*, *thighs* and *thighes* in the Objective Case

	thigh		thighs & thighes		total
	OT	NT	OT	NT	
動詞の目的	5	0	0	0	5
前置詞の補語	14	1	3	0	18
total	19	1	3	0	23

目的格として用いられたものは単数と複数を合わせて 23 例、その内、動詞の目的語になっているものは 5 例、前置詞の補語として用いられたも

のが18例で目的格の用例の78%になる。

3.6 *thigh* を目的語として支配する動詞

動詞の目的語として用いられた5例について、どのような動詞と共に用いられているかを表8に示す。

Table 8 Frequency of Verbs Taking *thigh* as their Object

verb	OT	NT	total
make	2	0	2
gather	1	0	1
smite	1	0	1
vncouer	1	0	1
Total	5	0	5

thigh をその目的語として取る動詞は *make*, *gather*, *smite*, *vncouer* である。

3.7 *loines* の前置修飾語

loines や *loynes* の左側に位置してこれらの語を修飾する語を表9に示す。

Table 9 Frequency of Premodifier of *loines* and *loynes*

word	OT	NT	total
his	15	3	18
thy	13	0	13
the	7	3	10
their	7	0	7
your	2	2	4
my	3	0	3
our	2	0	2
all	2	0	2
fathers	2	0	2
her	1	0	1
whose	1	0	1
total	55	8	63

loines や *loynes* の前置修飾語は人称代名詞が多い。その中でも *his* が最

も多いが、her も 1 例ある¹⁾。属格形の fathers はあるが mothers はない。

3.8 loines の後置修飾

loines や loynes の後置修飾については見るべきものが殆どない。すなわち、of の前置詞句が 7 例、過去分詞 girded が 1 例見られるのみである。

3.9 thigh の前置修飾語

thigh や thighs, thighs の左側に位置してこれらの語を修飾する語を表 10 に示す。

Table 10 Frequency of Premodifier of thigh, thighs and thighs

word	thigh		thighs & thighs		total
	OT	NT	OT	NT	
thy	4	0	1	0	5
the	4	0	1	0	5
his	3	1	1	0	5
my	3	0	0	0	3
Iacobs	2	0	0	0	2
right	2	0	0	0	2
her	1	0	0	0	1
total	19	1	3	0	23 ²⁾

thigh や thighs, thighs の前置修飾語は人称代名詞や定冠詞に加えて、属格の Iacobs や形容詞の right があることが判る。right は「右の」の意味である。her も 1 例ある³⁾。

3.10 thigh の後置修飾

thigh や thighs, thighs の後置修飾の用例は極めて少ない。of の前置詞句が 2 例見られるのみである。

4 意味

4.0 loines と loynes の意味

欽定英訳聖書で用いられている loines および loynes がどのような意味で

用いられているかを以下に用例と共に示していく。

4.1 力の源としての腰部⁴⁾

人間や獣が力を出す源が腰である。

- (1) *Loe now, his strength is in his loynes,* (Job 40:16)

(見よ、その力は腰にあり、⁵⁾)

神は人とも獣ともつかぬもの⁶⁾を創り出し、ヨブに見せて言う言葉である。

- (2) *..., smite thorow the loines of them that rise against him,* (De 33:11)

(彼に立ち向かう者の腰を打ち砕き)

モーセが生涯を終えるに先立って、イスラエルの民のうち、レビに関して神に祈っている場面である。

4.2 帯を締める部位⁷⁾

旅に出る際、あるいは戦に行く際に帯を締めて決心を固めるが、そのような帯を締める所としての「人体の腰」を表わす。

- (3) *Thou therefore gird vp thy loynes,* (Jer 1:17)

(あなたは腰に帯を締め)

神がエレミヤを選び出し、イスラエルの民の悪を裁くべく彼をその地に派遣するのである。

- (4) *Stand therefore, hauing your loynes girt about with trueth,* (Eph 6:14)

(立って、真理を帯として腰に締め、)

パウロはエフェソのキリスト教徒に対し、「神の武具を身につけて」悪と戦う備えをするように励ましている。

4.3 粗布を身につける部位⁸⁾

喪に服した証として、粗布を身につけるが、その着衣の部位が腰である。

- (5) *And Jacob ... put sackcloth vpon his loines,* (Ge 37:34)

(ヤコブは…粗布を腰にまとい、)

いわゆるヨセフ物語の一節で、父ヤコブは末子のヨセフが野の獣に食い殺されたと思い、嘆き悲しんで何日も喪に服するというところである。

- (6) *..., and I will bring vp sackcloth vpon all loynes,* (Am 8:10)

(どの腰にも粗布をまとわせ)

預言者アモスを通して神が終末論を語るところである。

4.4 枷を着けられる部位

自由を奪い、重荷を負わせる枷 (affliction=*Heb.* oppressive burden) が着けられる場所の一つが腰である。

(7) ...; thou layedst affliction vpon our loynes. (Ps 66:11)

(あなたは…我らの腰に枷をはめ)

詩篇のこの章の作者は、神は人に試練を与えるが、必ずそこから導き出してくれる、と唱っている個所である。なお、用例は(7)のみである。

4.5 身体の一部⁹⁾

上記の4.1~4.3までのように特定の役割をもった「腰」ではなく、単なる身体の一部として使われているにすぎない。

(8) And thou shalt make them linnen breeches, to couer their nakednes, from the loines euen vnto the thighs they shall reach. (Ex 28:42)

(また、彼らに亜麻布のズボンを作り、腰から腿までの肌を覆い隠すようにしなさい。)

主なる神はモーセに安息日のこと、幕屋のこと、祭壇のこと等々について指示を出す、その内の祭服について述べたところである。

(9) ...: from the appearance of his loines euen downward, fire:

(Eze 8:2A)

(その腰のように見えるところから下は火であり、)

預言者エゼキエルは神の手によってエルサレムに連れて行かれるが、その直前に彼の眼前に人の形をした幻が現れ、彼がその様子を述べている個所である。

4.6 生殖器¹⁰⁾

人の性器を表現する婉曲語 (euphemism) として「腰」が使われるが、すべての用例が男性器を表わしている。

(10) ..., that of the fruit of his loines, ..., he would raise vp Christ, to sit on his throne: (Ac 2:30)

(彼から生まれる子孫の一人をその王座に着かせると、)

ペテロがイスラエルの民に向かって説教をしているところである。

- (11) For hee was yet in the loynes of his Father when Melchisedec met him.
(Heb 7:10)

(なぜなら、メルキゼデクがアブラハムを出迎えたとき、レビはまだこの父の腰の中にいたからです。)

パウロはヘブルの人々に対して、メルキゼデク王とアブラハムとレビの関係を解き明かすのである。

4.7 thigh と thighs, thighes の意味

欽定英訳聖書で用いられている thigh および thighs, thighes がどのような意味で用いられているかを以下に用例と共に示していく。

4.8 剣を下げておく部位¹¹⁾

剣の鞘は腰 (loines) に締めた帯に付けてあり、剣を納めた鞘は大腿部にある。

- (12) And Ehud ... tooke the dagger from his right thigh, (J'g 3:21)

(エフドは…右腰の剣を抜き、)

エフドは貢ぎ物を納めるためにイスラエルを支配していたモアブの王、エグロン (Eglon) のもとに赴き、隠し持った剣で王を殺害する場面である。

- (13) Euery man hath his sword vpon his thigh, because of feare in the night.

(So 3:8)

(夜襲に備えて、腰に剣。)

ソロモン王を警護する戦士達の様子を唱ったものである。(12)も(13)も日本語訳は「腰」となっていて thigh には対応しないように思われるが、これらの個所のヘブル語は thigh にも loins にも解釈できる単語になっている。従って日本語訳が誤っているわけではない。

4.9 手で打つ部位¹²⁾

後悔することや悔しいことがあると、大腿部を手で打ってその気持ちを表わしている。

- (14) I smote vpon my thigh: (Jer 31:19)

(わたしは…腿を打って悔いました。)

エフライムが神に背いたことを後悔し、その気持ちを神に語っているところである。

(15) ...: smite therefore vpon thy thigh. (Eze 21: 12)

(それゆえ、あなたの腿を打て。)

神は預言者エゼキエルを通してイスラエルに大きな試練（すなわち、後から見れば、二度にわたり民族ごと捕虜になること）が来ることを語るどころである。

4.10 動物のもも肉

人間の大腿部ではなく動物の腿の肉を指す thigh が 1 例ある。

(16) Gather the pieces thereof into it, euen euery good piece, the thigh, and shoulder; (Eze 24:4)

(それに肉の切れを入れよ。腿や肩肉、すべて上質の肉切れを集め、)

神はエゼキエルを通してエルサレムが犯した不貞の罪に対し、恐ろしい火によって罰を与えること（すなわち、後から見れば、バビロニア王による戦火がエルサレムを襲うこと）を預言するところである。

4.11 身体の一部¹³⁾

上記、4.8~4.10のような特定の意味を持った「腿」ではなく、体の一部として扱われるものである。

(17) ..., and he halted vpon his thigh. (Ge 32:31)

(ヤコブはももを痛めて足を引きずっていた。)

ヤコブは神（の使い）と格闘し、腿の関節がはずれてしまった。その後遺症で足を引きずっているのである。

(18) This images head was of fine gold ... and his thighes of brasse:

(Da 2:32)

(それは頭が純金、…腿が青銅、)

預言者ダニエルはバビロン王が見た夢を再現し、その夢解きをするところである。

4.12 生殖器¹⁴⁾

loynes と同様に thigh が性器を表わす婉曲語になることがある。

(19) Put, I pray thee, thy hand vnder my thigh: (Ge 24:2)

(手をわたしの腿の間に入れ、)

アブラハムは年寄りの僕を呼び、息子イサクの嫁を探してくるように誓

わせる場面である。僕は主人アブラハムの男性器に触れて誓いを立てるのである。

5 慣用表現

5.0 loines や loynes を用いた慣用表現

loines や loynes を用いた慣用表現にはつぎのようなものがある。

5.1 gird (vp) one's loines¹⁵⁾

この慣用表現は「腰に帯を締める」の意味を表わす。腰に帯を締めて事に対処する、あるいは身構えることであるから、日本語の慣用表現の「ふんどしを締めてかかる」に相当する。

- (1) Gird vp nowe thy loines like a man; (Job 38:3)

(男らしく、腰に帯をせよ。)

神が嵐の中からヨブに語りかけ、天地を支配するのは神であることを言い聞かせるところである。

- (2) She girdeth her loynes with strength, (Pr 31:17)

(力強く腰に帯し、)

腰に帯をするのは男ばかりではない。有能な妻は腰に帯して事に対処するのである。OEDにはこの例文が1535年の Coverdale 版から引用されている¹⁶⁾。

ヘブル語原典ではこの慣用表現はつぎのようになっている。

- (3) מִתְּנִיָּהּ בְּעֹז חֲגִרָהּ
(her loins with strength she girded)

これらのことから、この表現はヘブル語由来の慣用表現であると言える。

5.2 come (forth) out of one's loines¹⁷⁾

この慣用表現は「腰から出てくる」ことから、「出生する」の意味である。ただし、4.6で述べたように女性の腰からではなく、男性の腰すなわち、男性器から生まれるという意識で用いられている。

- (4) All the soules that came with Iacob into Egypt, which came out of his loines, ..., all the soules were threescore and six (Ge 46:26)

(ヤコブの腰から出た者で、ヤコブと共にエジプトへ行ったものは、
…総数66名である。)

複数の妻を持ったヤコブは多数の子孫を生み出すが、その家族のうち、
妻達を除いて数えた数字を示している。

(5) ..., and Kings shall come out of thy loynes. (Ge 35:11)

(あなたの腰から王たちが出る。)

神がヤコブの将来を祝福して土地を与え、子孫の繁栄を預言するところ
である。OEDはこの用例を1535年の Coverdale の版で、この表現の初出
として載せている¹⁸⁾。

ヘブル語原典ではこの個所をつぎのようにしている。

(6) וּמְלָכִים מִחַלְצֵיךָ יֵצְאוּ:

(shall go forth from your loins and kings)

これらのことから、この表現はヘブル語由来の慣用表現であると言える。

5.3 thigh や thighs, thighe を用いた慣用表現

thigh や thighs, thighe を用いた慣用表現にはつぎのようなものがある。

5.4 smite vpon one's thigh¹⁹⁾

「腿を打つ」というのは、4.9で示したように「後悔したり、悔やしいと
思う」ことである。4.9の例文を再度見よう。

(7) I smote vpon my thigh: (Jer 31:19)

(わたしは…腿を打って悔いました。)

ヘブル語原典はどのようになっているのであろうか。

(8) עַל-יָרֵךְ סָפַקְתִּי

(on thigh I slapped)

欽定訳の英語はこのヘブル語の直訳であることが判る。

5.5 smite somebody hip and thigh

「人の腰や腿を打つ」というのは「容赦なく打ちのめす」の意味である。

(9) And he smote them hip and thigh, with a great slaughter; (J'g 15:8)

(彼らを徹底的に打ちのめし、)

怪力の戦士サムソンがペリシテ人の襲撃に対し徹底的に報復したと言う場面である。この表現をヘブル語原典はどのように表わしていたのであろうか。

- (10) עַל-יָרֵךְ שׁוֹךְ אֹתָם וַיִּד וַיִּד
 (on thigh hip them and he struck)

原典の表現は hip and thigh ではなく、hip on thigh である。従って、hip and thigh はヘブル語起源そのものではなく、英語の感覚で on を発音上、類似の and にしたものだと考えられる。OED ではこの表現を “Of Biblical origin” としており、初出例として1560年の Geneva Bible からの同個所の用例を使っている²⁰⁾。

この表現はヘブル語起源ではあるが、英語感覚に手直しされたものと言えよう。

5.6 put one's hand vnder another's thigh²¹⁾

「手を他人の腿の下に入れる」というのは「ある人の性器に触れて誓いを立てる」の意味である。この様な誓約の仕方は古代の神聖な儀式であったと言われている²²⁾。

- (11) If now I haue found grace in thy sight, put, I pray thee, thy hand vnder my thigh, and deale kindly and truely with mee, (Ge 47:29)

(もし、お前がわたしの願いを聞いてくれるなら、お前の手をわたしの腿の間に入れ、わたしのために慈しみとまことをもって実行すると誓ってほしい。)

ヤコブは死ぬ時期が近づいたことを悟り、エジプトの宰相になった息子のヨセフを呼んで、誓いを立てさせるのである。その誓いを神聖なものにするためにヤコブの男性器に触れるようにヨセフに頼んでいるところである。

この誓いの仕方はアブラハムの死の直前にも行われているので、性器に触れるということは子孫にもその誓いが及ぶことを想定していると言われる²³⁾。

ヘブル語の原典はどのように書いているのであろうか。該当の個所だけを見よう。

- (12) שִׁיםֶנָּה יָדְךָ תַּחַת יָרְכִי
 (my thigh under your hand please put)

このヘブル語をそのまま訳せば欽定訳の英文になる。OEDはこの表現について言及していないが、この表現はヘブル語起源としてよいであろう。

6 おわりに

本小論では欽定英訳聖書に現れる loynes と thigh およびその複数形についていくつかの言語的事実と両語の振る舞い、意味、慣用表現を観察した。それらの知見のいくつかをまとめて本稿を終えることにする。

1. loynes の用例数は63で、単数形の用例はない。
2. thigh およびその複数形の用例数は24である。
3. loynes を目的語として支配する動詞は gird が比較的多い。
4. thigh を目的語として支配する動詞は数値が小さく、記すべき特徴はない。
5. loynes の前置修飾語は人称代名詞が多い。
6. thigh の前置修飾語は用例数が少なく、見るべき特徴はない。
7. loynes は以下の意味で使われている。

1) 力の源としての腰部	2) 帯を締める部位
3) 粗布を身につける部位	4) 枷を着けられる部位
5) 身体の一部	6) 生殖器
8. thigh は以下の意味で使われている。

1) 剣をつり下げておく部位	2) 手で打つ部位
3) 動物のもも肉	4) 身体の一部
5) 生殖器	
9. loynes を含む慣用表現は以下のとおりである。

1) gird (vp) one's loynes	ヘブル語起源
2) come (forth) out of one's loynes	ヘブル語起源
10. thigh を含む慣用表現は以下のとおりである。

1) smite vpon one's thigh	ヘブル語起源
2) smite somebody hip and thigh	ヘブル語に由来するが英語の要素が含まれている。

3) put one's hand vnder another's thigh ヘブル語起源

注

- 1) Proverbs 31:17に She girdeth her loynes with strength. とある。
- 2) 前置修飾語のない使用例が Judges 15:8に 1例あるので合計が24にならない。
- 3) Numbers 5:27に ..., and her thigh shal rot: とある。
- 4) 「力の源としての腰部」の用例は以下のとおり。
De 33:11 Job 40:16 Ps 69:23 Isa 45:1 Eze 21:6
Eze 29:7 Da 5:6 Na 2:1 Na 2:10.
- 5) 日本語訳は日本聖書協会のいわゆる『共同訳』1993年版を主に使い、この日本語訳が欽定訳の英語にそわない場合は日本聖書協会の1982年版、または日本聖書協会の『小型旧約聖書』を採用する。
- 6) 新共同訳はこの動物を「ベヘモット」と訳しているが、聖書協会訳は「河馬」としている。関根の『ヨブ記註解』(pp. 213-4)によれば、この場面はナイル川を背景としているので「河馬」という解釈も成り立つが、原語は「原初の動物」というような意味であろう、としている。
- 7) 「帯を締める部位」の用例は以下のとおり。
Ex 12:11 2Sa 20:8 1Ki 2:5 1Ki 18:46 2Ki 1:8
2Ki 4:29 2Ki 9:1 Job 12:18 Job 38:3 Job 40:7
Pr 31:17 Isa 5:27 Isa 11:5 Jer 1:17 Jer 13:1
Jer 13:2 Jer 13:4 Jer 13:11 Eze 23:15 Da 10:5
Mat 3:4 Mar 1:6 Lu 12:35 Eph 6:14 1Pe 1:13.
- 8) 「粗布を身につける部位」の用例は以下のとおり。
Ge 37:34 1Ki 20:31 1Ki 20:32 Isa 20:2 Isa 32:11
Jer 48:37 Am 8:10.
- 9) 「身体の一部」の用例は以下のとおり。
Ex 28:42 1Ki 12:10 2Ch 10:10 Ps 38:7 Job 31:20
Isa 21:3 Eze 1:27A Eze 1:27B Eze 8:2A Eze 8:2B
Eze 44:18 Eze 47:4.
- 10) 「生殖器」の用例は以下のとおり。
Ge 35:11 Ge 46:26 Ex 1:5 1Ki 8:19 2Ch 6:9
Jer 30:6 Ac 2:30 Heb 7:5 Heb 7:10.
- 11) 「剣を下げておく部位」の用例は以下のとおり。
J'g 3:16 J'g 3:21 So 3:8 Ps 45:3.

- 12) 「手で打つ部位」の用例は以下のとおり。
 Jg 15:8 Jer 15:8 Eze 21:12.
- 13) 「身体の一部」の用例は以下のとおり。
 Ge 32:25A Ge 32:25B Ge 32:31 Ge 32:32A Ge 32:32B
 Nu 5:21 Nu 5:22 Nu 5:27 Ex 28:42 So 7:1
 Isa 47:2 Da 2:32 Re 19:16.
- 14) 「生殖器」の用例は以下のとおり。
 Ge 24:2 Ge 24:9 Ge 47:29.
- 15) gird (vp) one's loines の用例箇所は以下のとおり。
 1Ki 18:46 2Ki 4:29 2Ki 9:1 Job 12:18 Job 38:3
 Job 40:7 Pr 31:17 Jer 1:17 1Pe 1:13.
- 16) *OED* s.v. Loin sb. 2.
- 17) come out of one's loines の用例箇所は以下のとおり。
 Ge 35:11 Ge 46:26 Ex 1:5 1Ki 8:19 2Ch 6:9
 Heb 7:5.
- 18) *OED* s.v. Loin sb. 2.b.
- 19) smite vpon one's thigh の用例は以下のとおり。
 Jer 31:19 Eze 21:12.
- 20) *OED* s.v. Hip sb¹. 2.d.
- 21) put one's hand vnder another's thigh の用例は以下のとおり。
 Ge 24:2 Ge 24:9 Ge 47:29.
- 22) John Skinner (1980) pp. 341-2.
- 23) Charles T. Fritsch (1968) p. 77.

REFERENCES

1. The Bible

- Biblia Hebraica Stuttgartensia*. (1997) Stuttgart: Deutsche Bibelgesellschaft.
- The Bible in English*. (CD-ROM) (1996) Cambridge: Chadwyck-Healey Ltd.
- The Bishops' Bible*. A facsimile of the 1568 edition. (1998) Tokyo: Elpis Co. Ltd.
- The Holy Bible*. A facsimile of the Authorized Version published in the year 1611. (1982) Tokyo: Nan'un-do.
- The Holy Bible*. An Exact Reprint in Roman Type, Page for Page of the Authorized Version Published in the Year 1611 (1985) Tokyo: OUP, Oxford/Kenkyusha.
- The Holy Bible, Revised Standard Version*. (1952) Minneapolis: Augsburg Publ. House.
- Green, Jay P. Sr. ed. & tr., (1983) *The Interlinear Hebrew-Greek-English Bible*. vol. I~IV, Grand Rapids: Baker Book House.

『聖書』新共同訳 (1987) 東京：日本聖書協会。

『聖書』(1982) 東京：日本聖書協会。

『小型旧約聖書』(1954) 東京：日本聖書協会。

2. Commentary and others

The Oxford English Dictionary. 2nd ed. (1989) Clarendon: OUP.

Buttrick, George A., Walter R. Bowie *et al* (ed.) *The Interpreter's Bible*. Vol. I. New York: Abington Press.

Davidson, Benjamin (Repr. 1974) *The Analytical Hebrew & Chaldee Lexicon*. London: Samuel Bagster & Sons Ltd.

Fritsch, Charles T. (1968) *The Book of Genesis*. (The Layman's Bible Commentary Vol. 2) Richmond Va: John Knox Press.

McKane, William (1986) *A Critical and Exegetical Commentary on Jeremiah*. vol. I. Edinburgh: T & T Clark Ltd.

Skinner, John (1980) *A Critical and Exegetical Commentary on Genesis*. Edinburgh: T. & T. Clark Ltd.

Strong, James (1982 repr.) *Strong's Exhaustive Concordance*. Grand Rapids: Baker Book House.

『旧約・新約聖書大辞典』(1989) 東京：教文館。

関根正雄 (1970) 『ヨブ記註解』東京：教文館。